

## 清流公園整備・管理運営事業の事業者公募 当社を代表とするグループが優先交渉権者に選ばれました

福岡地所株式会社（本社：福岡市博多区、代表取締役社長：榎本一郎、以下「当社」）は、福岡市による Park-PFI 制度を活用した「清流公園整備・管理運営事業」の事業者公募について、当社を代表とするグループが優先交渉権者に選ばれたのでお知らせします。

清流公園は、復興土地区画整理事業により、1952年度に開園した街区公園であり、北は昭和通りから南はチャンネルシティ博多までの那珂川に面する細長い形状で、天神と博多駅を結ぶ回遊軸上に位置し、水辺を活かしたまちづくり「リバーフロント NEXT」(※) のエリアにある公園です。

福岡市とともに、当社を代表とするグループが水辺のロケーションとエリアの特性を活かした公園整備、施設整備による憩いの空間創出と、多様なイベント開催による賑わいの創出を通じ、公園利用者の利便性や満足度の向上、都心部の回遊性強化を図り、エリアの魅力増進に貢献します。



シンボリックな建物が建つ南側エリア（イメージ）

※リバーフロント NEXT

リバーフロント NEXT とは、那珂川沿いの須崎公園から清流公園までのエリアを、川に向かって開かれたまちへと導き、水辺や歴史などの資源を生かしながら、安心して回遊できる空間づくりに取り組むもの。

 RIVER  
FRONT  
NEXT

## 1. リニューアル概要

- 憩いや賑わいの場の集積と象徴的な公園施設が都心の回遊を促進
  - ・公園の核となる象徴的な建物を配置、人を惹きつけ、回遊を大きく促進
  - ・多様なイベントに対応し、平常時には人々の憩える公園となる広場を計画
  - ・様々なアクティビティが連続し、変化にとんだ景色により、歩いて楽しい歩行空間を形成
- シンボリックなデザインの建築が福岡に新しいランドマークを形成
  - ・広場を囲むように建物を配置、建築と広場が一体となった、これまでにない公園体験の提供
  - ・建築を活かした照明計画による、リバーフロントエリアの新たな夜の象徴となる風景
- 光が織りなす幻想的なエンターテインメントショー
  - ・観光のシンボルとなる、福岡市の夜を代表する水と光のスペクタクルショー
  - ・日没後も川沿いの回遊を促進し、橋上エリアを中心に一帯に賑わいを創出  
(別紙1、別紙2のとおり)

## 2. 事業対象地

清流公園 (所在地 福岡市博多区中洲、福岡市中央区春吉ほか)

## 3. 企業グループの構成

代表企業 福岡地所株式会社

構成員 株式会社サン・ライフ  
株式会社エフ・ジェイエンターテインメントワークス  
株式会社梓設計 九州支社  
株式会社復建エンジニアリング 福岡支社  
株式会社スタジオ・ゲンクマガイ  
株式会社筑糸建設  
安藤造園土木株式会社  
日新産業株式会社

## 4. 南側エリアの民間施設について

- ・建築デザインには、アメリカ建築家協会や NASA (アメリカ航空宇宙局)、ニューヨーク市などによる多数の賞を受賞している Clouds Architecture Office (アメリカ) を採用。
- ・南北に伸びる大きなウイング状の建物を整備し、印象的な福岡の新たな名所となる空間を創出。中心部に多様なイベントが開催できる開放的な広場を設けます。建物屋上部分は階段状のテラス仕様とし、平常時は憩いの場、イベント時は観覧席として活用します。また、特徴的な建築デザインを引き立てるライトアップも実施します。
- ・水辺の景色を1日中楽しめるオールデイダイニングやカフェを中心に公園利用者のライフスタイルの満足度を高めるテナントを誘致予定です。



南側エリアのイベント開催時 (イメージ)

## 5. 今後のスケジュール

2023年9月～ 事業基本協定の締結、設計・協議

2024年度～ 工事（予定）

2025年春～ 順次供用開始（予定）

※公募の概要や結果等については、下記の福岡市ホームページに公表しています

<https://www.city.fukuoka.lg.jp/jutaku-toshi/midorikatuyou/shisei/seiryuukouen.html>



夢回廊橋からのエントランス（イメージ）



南側エリアの常設ステージ（イメージ）



橋上エリアの西側エントランスコート（イメージ）



北側エリアのポートとカウンター（イメージ）

◆事業概要

|                |   |
|----------------|---|
| <p>基本方針</p>    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 貴重なリバーフロント環境を活かした都心部ならではの憩える場を創出し、リバーフロントNEXTの実現に貢献する創造的な取り組みを実施。</li> <li>・ 福岡から発信する新しいカルチャーを生む多様な活動の場や、そこから生まれる賑わいの場、継続的に魅力のある集客力の高いイベント運営を実現。</li> </ul>  |
| <p>公園整備の特色</p> | <p>【南側エリア】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 象徴的な建築と一体となった地域イベントから中洲ジャズ等の大型イベントまで開催可能な開放的なイベント広場を中央部に整備。</li> </ul> <p>【橋上エリア】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公園利用者を迎え入れる玄関口としてふさわしい、緑あふれる憩いの空間を整備。様々なイベントに対応する広場、一部稼働式の各種ファニチャーを設置し、川を眺めながら公園利用者が思い思いに滞在できる場を提供。</li> </ul> <p>【北側エリア】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公園利用者の多様なアクティビティが連続して発生する仕掛けを配置し、変化に富んだ景色を楽しみつつ、歩いて楽しい通りに整備。また、桜が多く植えられているところに常緑樹を追加し、冬場でも緑あふれる通りに。</li> </ul> <p>【光演出のコンテンツ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日没後の夜間も川沿いの回遊を促進し、エリア一帯に賑わいを創出するため、橋上広場を中心に川沿いへと人々を誘う光のショーを開催</li> </ul> |
| <p>民間施設の特色</p> | <p>【南側エリア】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 南北に伸びる大きなウイング状の建物を整備し、印象的な福岡の新たな名所となる空間を創出。建物屋上部分は階段状のテラス仕様とし、平常時は憩いの場、イベント時は観覧席として活用。<br/>※建築デザインはClouds Architecture Office（米国）を起用</li> <li>・ 水辺の景色を1日中楽しめるオールデイダイニングやカフェを中心に公園利用者のライフスタイルの満足度を高めるテナントを誘致予定</li> </ul> <p>【橋上エリア・北側エリア】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小規模なテイクアウトに特化した飲食店を各1か所設置</li> </ul>   |
| <p>管理運営の特色</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公園利用者や地域のニーズを収集し、誰もが快適に利用できる管理運営を目指す</li> <li>・ 多様な人々の多彩な活動の場づくりを促進させ、公園～エリア全体の活性化、誘引力を高める</li> </ul>  |

◆全体配置イメージ



※提案時における優先交渉権者の主な提案内容であり、今後の協議等により変更になることがあります。

◆イメージパース



※提案時における優先交渉権者の主な提案内容であり、今後の協議等により変更になることがあります。